

妊婦×外ネコ =危ない？



猫の糞から感染するトキソプラズマを知っていますか？



トキソプラズマは猫・牛・豚・鶏・ヤギなどの体内に寄生する「**原虫**」のことです。動物の体内や猫の糞、土の中に存在し、人間も口から摂取することで感染します。妊婦がトキソプラズマに感染すると、胎児が先天性トキソプラズマ症を発症し、**眼や脳に障害**が生じたり、**流産**に至る可能性があります。



特に猫の糞に含まれるトキソプラズマは、土や水の中で何ヶ月も残り続けます。つまり、放し飼い猫や野良猫などの外ネコがトキソプラズマを拡散してしまうのです。最近の研究で、徳之島の野良猫の間でもトキソプラズマが広まっていることが判明しました。
※トキソプラズマは世界中で確認されています

注意と お願い

- 妊婦の方は猫に触れた後は手洗いをしてください。
- 食肉についてはよく加熱するようにご注意ください。
- 生野菜はよく水洗いを行ってから食べるようにしてください。
- 猫の放し飼いはやめましょう。
- 外にいる猫へのみだりな餌やりはやめましょう。

徳之島三町の「**飼い猫の適切な飼養及び管理に関する条例**」では、猫が増えすぎるのを防止するために猫の放し飼いは原則禁止としています。また飼い猫以外の猫へのみだりな餌やりは禁止されています。

子宝の島である徳之島において、人々の健康のため、農作物の安全性を確保するためにも、**放し飼いとみだりな餌やりは絶対にやめましょう。**

徳之島三町ネコ対策協議会